

2018年11月15日
損害保険ジャパン日本興亜株式会社

沖縄県との『包括連携協定』の締結について

損害保険ジャパン日本興亜株式会社（社長：西澤 敬二、以下「損保ジャパン日本興亜」）は、県民サービスの向上や地域活性化に関する取り組みを相互協力のもとに推進するため、沖縄県（知事：玉城 デニー）と『包括連携協定』を2018年11月15日に締結したことをお知らせします。

1. 背景・経緯

- ・損保ジャパン日本興亜は、県民・行政・NPO/NGOなど、さまざまなステークホルダーの皆さまとの協働を通じ、「よりよいコミュニティ・社会をつくること」をCSR（企業の社会的責任）の重点課題のひとつとしています。
- ・沖縄県では21世紀ビジョン基本計画の着実な推進に向けて、施策を実施しています。また、沖縄21世紀ビジョンでは、企業を含む地域の構成員の力を活かした、県民サービスの充実が求められている中、特に企業には社会貢献などが強く期待されている状況です。これまで、損保ジャパン日本興亜と沖縄県の各部署で個別に連携を行ってききましたが、沖縄県民のために幅広い分野にて相互の連携を強化しようと双方の思いが一致し、今回の包括連携協定締結に至ったものです。

2. 協定の目的

沖縄県と損保ジャパン日本興亜は、相互に緊密な連携を図ることにより、潤いと活力をもたらす沖縄らしい優しい社会及び日本と世界の架け橋となる、強くしなやかな自立型経済の構築に向けて、一層の地域の活性化及び県民サービスの向上に寄与することを目的とします。

3. 協定の主な内容

損保ジャパン日本興亜の強みや特徴が活かせる以下の6分野において連携を行います。

- （1） 防災・減災に関すること
- （2） 暮らしの安心・安全に関すること
- （3） 中小企業振興に関すること
- （4） 観光振興に関すること
- （5） 女性活躍に関すること
- （6） その他、本協定の目的に合うこと

4. 今後について

損保ジャパン日本興亜は、今後も地方自治体と連携し、各地域がそれぞれの特徴を活かした自立的で持続的な社会を創出することに貢献していきます。

以上